



平成28年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年10月28日

上場会社名 日本カーボン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5302 URL <http://www.carbon.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊東 郁夫
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 業務管理部長 (氏名) 今井 浩二 TEL 03(6862)6110
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第3四半期の連結業績（平成28年1月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第3四半期	16,503	△22.5	△972	—	△1,049	—	△1,286	—
27年12月期第3四半期	21,288	△2.0	1,359	187.0	1,240	173.2	649	132.3

(注) 包括利益 28年12月期第3四半期 △1,940百万円 (—%) 27年12月期第3四半期 589百万円 (50.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第3四半期	△11.60	—
27年12月期第3四半期	5.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年12月期第3四半期	55,315	34,102	52.3	261.04
27年12月期	59,043	36,617	53.3	283.82

(参考) 自己資本 28年12月期第3四半期 28,951百万円 27年12月期 31,477百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
28年12月期	—	0.00	—	—	—
28年12月期（予想）	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年12月期の連結業績予想（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,600	△4.6	△1,400	—	△1,400	—	△1,700	—	△15.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年12月期3Q	118,325,045株	27年12月期	118,325,045株
② 期末自己株式数	28年12月期3Q	7,416,782株	27年12月期	7,415,843株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年12月期3Q	110,908,596株	27年12月期3Q	113,542,210株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の金融・経済政策による企業収益の改善や、雇用・所得状況の向上など、総じて緩やかな回復傾向が続きました。しかしながら、今後の企業収益の伸びに対する慎重な見方から、個人消費の拡大に鈍化傾向が見られる状況にあり、依然先行きは不透明な状況が継続いたしました。

また、世界経済は、欧州では英国のEU離脱問題、アジアでは中国の急激な景気減速懸念、米国では利上げの時期および大統領選挙の行方など、先行きについての不透明感が拡大しております。

当社グループを取り巻く事業環境は、激化する競争の中、厳しい状況で推移しました。このような状況の中、「新しい技術への挑戦と製品の高付加価値化」を推進し、新たな時代を切り開く屈強な収益体質をグループを挙げて確立する方針の下、収益性の高い高付加価値製品の展開および海外展開の強化、コスト削減活動等の諸施策にグループ一丸となって取り組んでまいりました。

しかし、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高165億3百万円（前年同四半期比22.5%減）、営業損失9億7千2百万円（前年同四半期は13億5千9百万円の営業利益）、経常損失10億4千9百万円（前年同四半期は12億4千万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失12億8千6百万円（前年同四半期は6億4千9百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

(炭素製品関連)

電極部門は、国内については電炉業界の需要の低迷が続き、海外についても価格競争により販売価格が下落する状況が日を追って拡大しており、非常に厳しい事業環境が続いております。

当社は安易な価格競争には参加しないという方針を引き続き堅持した結果、販売数量、売上金額ともに大幅な減少となりました。

ファインカーボン部門は、半導体市場、太陽電池市場の一部に回復が見られ、炭素繊維および特殊炭素材料の販売は堅調に推移しました。リチウムイオン電池負極材の販売も堅調に推移しております。

この結果、売上高は151億1千2百万円（前年同四半期比22.5%減）、セグメント損失（営業損失）は12億5千4百万円（前年同四半期は9億1千9百万円のセグメント利益）となりました。

(炭化けい素製品関連)

炭化けい素繊維の販売は計画通りに推移しております。売上高は7億9千6百万円（前年同四半期比7.0%減）、セグメント損失（営業損失）は7百万円（前年同四半期は5千万円のセグメント利益）となりました。

(その他)

産業用機械の製造・販売は堅調に推移しましたが、不動産賃貸は昨年11月末の所有物件の賃貸オフィスビル（ニューステージ横浜）の売却により減収となった結果、売上高は5億9千4百万円（前年同四半期比36.9%減）、セグメント利益（営業利益）は1億1千9百万円（同45.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、553億1千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ37億2千8百万円の減少となりました。流動資産は、たな卸資産17億6千3百万円の減少、受取手形及び売掛金17億5千4百万円の減少並びに現金及び預金17億4千6百万円の減少等により、285億3千万円と前連結会計年度末に比べ48億8千8百万円の減少となりました。固定資産は、新規設備の投資等による建設仮勘定13億8千5百万円の増加により、267億8千4百万円と前連結会計年度末に比べ11億5千9百万円の増加となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べて12億1千2百万円減少し、212億1千2百万円となりました。流動負債は、その他に含まれる設備関係未払金12億7千1百万円の減少、支払手形及び買掛金12億4千3百万円の減少並びに短期借入金8億1千5百万円の減少により、126億5千9百万円と前連結会計年度末に比べ44億3千9百万円の減少となりました。固定負債は、長期借入金37億3千9百万円の増加により、85億5千3百万円と前連結会計年度末に比べ32億2千6百万円の増加となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失12億8千6百万円、配当金の支払い5億5千4百万円並びにその他有価証券評価差額金6億2千3百万円の減少により、前連結会計年度末に比べ25億1千5百万円減少し、341億2百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成28年7月29日に公表いたしました通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「平成28年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 持分法適用の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、新たに株式を取得したNippon Kornmeyer Carbon Group社を持分法の適用の範囲に含めております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項（4）、連結会計基準第44－5項（4）及び事業分離等会計基準第57－4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,830	9,083
受取手形及び売掛金	7,894	6,140
商品及び製品	8,109	6,716
仕掛品	3,651	3,634
原材料及び貯蔵品	1,906	1,553
その他	1,027	1,406
貸倒引当金	△0	△4
流動資産合計	33,419	28,530
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,235	12,870
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,494	△7,658
建物及び構築物（純額）	4,741	5,212
機械及び装置	37,841	38,343
減価償却累計額	△32,273	△33,441
機械及び装置（純額）	5,568	4,901
車両運搬具及び工具器具備品	2,758	2,818
減価償却累計額	△2,417	△2,502
車両運搬具及び工具器具備品（純額）	341	315
土地	3,938	3,889
建設仮勘定	3,918	5,303
有形固定資産合計	18,508	19,621
無形固定資産		
投資その他の資産	115	162
投資有価証券	4,654	4,995
その他	2,382	2,040
貸倒引当金	△36	△35
投資その他の資産合計	7,000	6,999
固定資産合計	25,624	26,784
資産合計	59,043	55,315

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,985	2,741
短期借入金	8,784	7,968
未払法人税等	531	107
賞与引当金	129	302
役員賞与引当金	39	5
その他	3,627	1,534
流動負債合計	17,098	12,659
固定負債		
長期借入金	2,160	5,900
退職給付に係る負債	1,599	1,371
役員退職慰労引当金	69	78
環境対策引当金	22	22
資産除去債務	73	73
その他	1,402	1,108
固定負債合計	5,327	8,553
負債合計	22,425	21,212
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,402	7,402
資本剰余金	7,800	7,800
利益剰余金	16,237	14,395
自己株式	△1,824	△1,824
株主資本合計	29,615	27,774
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,905	1,282
為替換算調整勘定	62	△11
退職給付に係る調整累計額	△106	△93
その他の包括利益累計額合計	1,861	1,177
非支配株主持分	5,139	5,150
純資産合計	36,617	34,102
負債純資産合計	59,043	55,315

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
売上高	21,288	16,503
売上原価	16,895	14,951
売上総利益	4,393	1,552
販売費及び一般管理費	3,034	2,525
営業利益又は営業損失(△)	1,359	△972
営業外収益		
受取配当金	50	55
保険差益	20	108
その他	85	56
営業外収益合計	157	220
営業外費用		
支払利息	60	63
支払手数料	62	-
為替差損	102	91
持分法による投資損失	-	95
その他	51	47
営業外費用合計	276	297
経常利益又は経常損失(△)	1,240	△1,049
特別利益		
受取補償金	-	173
特別利益合計	-	173
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,240	△876
法人税、住民税及び事業税	399	211
法人税等調整額	231	107
法人税等合計	631	318
四半期純利益又は四半期純損失(△)	609	△1,194
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△40	92
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	649	△1,286

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	609	△1,194
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△47	△625
繰延ヘッジ損益	51	-
為替換算調整勘定	△36	△133
退職給付に係る調整額	11	13
その他の包括利益合計	△20	△745
四半期包括利益	589	△1,940
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	645	△1,970
非支配株主に係る四半期包括利益	△56	29

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	炭素製品 関連	炭化けい素 製品関連	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,490	856	941	21,288	—	21,288
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	0	262	263	△263	—
計	19,491	856	1,203	21,551	△263	21,288
セグメント利益	919	50	219	1,188	170	1,359

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	炭素製品 関連	炭化けい素 製品関連	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,112	796	594	16,503	—	16,503
セグメント間の内部売上高又は振替高	4	8	504	517	△517	—
計	15,117	804	1,098	17,020	△517	16,503
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△1,254	△7	119	△1,143	170	△972

(注) 1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失(△)と一致しております。